令和5年度

石川県成長戦略
実施状況
【概要版】

石川県成長戦略の体系

基本目標　**幸福度日本一に向けた石川の未来の創造**　～住みやすく、働きやすい、活力あふれる石川県の実現～

<目指す姿>　<視点>　<６つの戦略>　<３８の施策>

住みやすい石川県

働きやすい石川県

活力あふれる石川県

視点１　石川の新たな価値の創造

視点２　県民が健やかに安心して暮らせる社会の構築

＜６つの戦略＞

1 新たな時代を捉えて飛躍・成長する産業づくり

1 産業のＤＸ推進
2 産業のＧＸ推進
3 産業を支える人材の確保・育成
4 新事業・新産業の創出
5 国内外への販路拡大・魅力発信
6 中小企業・小規模事業者等の事業基盤の強化
7 企業等の戦略的誘致

2 収益力の高い農林水産業と次世代につなぐ農山漁村づくり

1 農業生産構造の強化
2 持続可能な農業・畜産業の体制づくり
3 農林水産物のブランド化の推進や里山里海地域の振興
4 県産材の生産・利用拡大による林業の発展と木材産業の体制強化
5 持続性のある水産業の実現

3 個性と魅力にあふれる交流盛んな地域づくり

1 個性と厚みのある文化の創造と発展
2 スポーツを通じた活力の創造
3 選ばれ続ける観光地としてのブランド力の強化
4 交流人口の拡大に資する陸・海・空の交流基盤のさらなる充実
5 地域活力の向上に向けた移住・定住の促進
6 個性豊かな地域づくり
7 世界に開かれた国際交流の推進

4 石川の未来を切り拓く人づくり

1 次世代を担う人材の育成
2 地域の知の拠点たる高等教育機関と連携した「学都石川」の発展
3 人生１００年時代を見据えた、生涯にわたり学び活躍できる環境の整備

5 温もりのある社会づくり

1 安心して子どもを生み育てることができる環境の充実
2 生涯健康で安心して暮らせる社会づくり
3 全ての県民への必要な医療の提供
4 誰もが心豊かに安心して暮らせる多様性を認め合う社会づくり
5 男女が共に活躍できる社会の実現

6 安全・安心かつ持続可能な地域づくり

1 災害に負けない強靭な県土づくり
2 安心して快適に暮らせる地域づくり
3 持続可能な循環型社会づくり
4 自然と人とが共生できる社会づくり

＜２つの横断的戦略＞

1 デジタル活用の推進

1 デジタル活用の基盤整備
2 社会全体のDX推進

2 カーボンニュートラルの推進

1 幅広い産業分野におけるＧＸ推進
2 エネルギー構造の転換への対応
3 住宅や民間施設などのゼロエネルギー化の促進
4 環境配慮型自動車の普及やモーダルシフトの促進
5 カーボンニュートラルの実現に向けた県民意識の醸成

戦略の実施状況

戦略1 新たな時代を捉えて飛躍・成長する産業づくり

○スマートエスイーＩＯＴ／ＡＩ石川スクールの開催や、ＤＸ設備・システムの導入支援等により、デジタル人材育成や先進技術の普及を促進

○産学官連携による炭素繊維と天然繊維を用いた環境適合型複合材料の研究開発等の推進や、春蘭の里における「ゼロカーボンビレッジ」の普及啓発等を通じ、グリーン分野への参入や、カーボンニュートラル対応と競争力強化の両立を促進

スマートエスイーＩｏＴ/ＡＩ石川スクール

戦略2 収益力の高い農林水産業と次世代につなぐ農山漁村づくり

○水稲から収益力の高い園芸作物への作付転換や、スマート農業技術の導入・定着支援等による生産性向上

○「百万石の極み」を中心とした県産食材の生産振興や販路拡大、県産米の消費拡大を促進

○いしかわ耕稼塾、あすなろ塾、わかしお塾等を通じた新規就業者の確保・育成・定着

たまねぎへの作付転換

戦略の実施状況

戦略 3

個性と魅力にあふれる交流盛んな地域づくり

○「いしかわ百万石文化祭2023」において、石川ならではの文化資源を活用した151の事業を展開し、石川の文化・芸術の力を発信

○県立美術館と国立工芸館の共同による「皇居三の丸尚蔵館収蔵品展」の開催など、兼六園周辺文化の森における連携強化と魅力向上

○いしかわスポーツ医科学情報センターの設置や県内トップスポーツチームとの連携等による、スポーツを通じた活力の創造

○いしかわ文化振興条例への「文化観光の推進」の位置付けと、石川県文化観光推進本部の設置等により、文化観光を推進

○ＩＲいしかわ鉄道の運行本数の増加等による地域公共交通の維持・確保・充実

○石川県での暮らしの魅力等の情報発信強化や移住体験機会の提供等により、移住・定住を促進

○地域おこし協力隊との協働による個性豊かな地域づくりの推進

○石川ジャパニーズ・スタディーズ・プログラムの実施や、友好交流地域との青少年相互派遣等により、国際交流を拡大

チームラボ金沢城光の祭

皇居三の丸尚蔵館収蔵品展

移住体験の様子

戦略の実施状況

戦略4 石川の未来を切り拓く人づくり

○金沢大学と連携した学力調査分析等による小中学校の授業改善や１人１台端末などICTの活用等により、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を推進

○高等学校での地域課題の解決に向けた探求的学習等による「ふるさと教育」の推進や、地元産業界等との連携による職業教育の充実

○全国の高校教員に石川県の充実した学びの環境を紹介するキャンパスツアーの実施等を通じ、県内高等教育機関の魅力を発信

キャンパスツアーの様子

戦略5 温もりのある社会づくり

○いしかわ健康経営宣言企業の認定による「健康経営」の普及や、市町における地域包括ケア推進に向けた支援等により、県民の健康を支える環境づくりを推進

○修学資金の貸与等による医師・看護師の確保・育成や、産科医不足地域での「遠隔分娩監視システム」の導入支援等を通じた地域医療の確保

○男女が共に活躍できる社会の実現に向けた、企業における職場環境づくりや男性の家事・育児等への参画促進、女性等に対する暴力根絶に向けた意識啓発等の実施

あいきゅんロゴマーク

戦略の実施状況

戦略6 安全・安心かつ持続可能な地域づくり

○市町と連携した防災士の育成による地域防災力の向上や、防災DXの推進等を通じた災害対応力の基盤強化

○流域治水の取組等を通じた防災・減災対策の充実強化

○参加・体験・実践型の交通安全教育の推進や、自転車ヘルメット着用を呼び掛ける街頭キャンペーン等を通じた交通事故の防止

○省エネ・創エネ住宅の新築や電気自動車等の購入支援、いしかわエコハウスのリニューアル等を通じ、省エネ・創エネに対する県民の理解を促進

○早ければ令和８年度となる能登でのトキ放鳥に向けた、放鳥推進モデル地区への支援や、「いしかわトキの日」記念キックオフイベントの開催等による生息・社会環境の整備促進

○クマ出没マップの作成や市街地出没訓練等を通じたツキノワグマによる人身被害防止

横断戦略1 デジタル活用の推進

○電子申請システム等を利用したオンライン行政手続の運用拡大により、県民の利便性を向上

○スマートエスイーIoT/AI石川スクールの開催や、ＤＸ設備・システムの導入支援等により、デジタル人材育成や先進技術の普及を促進【再掲】

横断戦略2 カーボンニュートラルの推進

○省エネ家電を購入した県民へのキャッシュレスポイント付与等により、家庭における省エネを推進

○2050年カーボンニュートラルの実現に向けた、「いしかわゼロカーボンの日（10月10日）」イベントの開催等による県民の気運醸成

主要目標の状況

戦略	指標名	目標値 （R14年度）	実績値 （R4年度）	実績値 （R5年度）	達成状況
1	・県民１人当たりの県内総生産(実質)	年平均2.2%成長 (R4～R14年の平均)	年平均0.9%成長 (H24～R4年(推計)の平均)	年平均1.1%成長 (H25～R5年(推計)の平均)	B
2	・農業産出額	600億円	480億円 (R3年)	484億円 (R4年)	C
	・食料自給率(県内)(生産額ベース)	55%	43% (R3年度)	41% (R4年度)	D
3	・兼六園周辺文化の森文化施設来館者数	354万人	234万人	276万人	B
	・観光消費額	4,000億円	2,187億円 (R4年)	3,107億円 (R5年)	B
	・人口の転入出数	社会減解消 (R9年)	▲2,163人 (R4年)	▲2,241人 (R5年)	C
4	・全国学力調査の平均正答率	小６：70%以上	小6：69.7%	小６：69.5%	D
		中３：70%以上	中3：62.0%	中３：59.3%	D
	・県内大学・短期大学の志願者数	34,000人	32,609人	28,717人	D
5	・合計特殊出生率	1.8	1.38 (R4年)	1.34 (R5年)	D
	・健康寿命	平均寿命の増加を上回る健康寿命の増加	健康寿命 男性：73.08 女性：75.90 平均寿命 男性：81.79 女性：87.79 (R1年)	－	－
6	・防災士数	12,000人以上	9,125人	9,929人	B
	・交通事故年間死者数	減少	22人 (R4年)	28人 (R5年)	D
横断2	・温室効果ガス排出量の削減率	▲50% (R12、2030年度) 排出量実質ゼロ (2050年)	▲23.1% (R2年度)	▲20.0% (R3年度)	D
横断1	・オンライン化された県条例等を根拠とする手続の利用率	90%	15.8%	46.5%	B
	・県内産業の付加価値率	22.3%	21.6% (R2年度)	－	－

＜達成状況＞

A：達　成　実績値(R5年度)が目標値を上回り、目標を達成した状態

B：前　進　実績値(R5年度)が実績値(R4年度)より上回っており、目標に向かって前進している状態

C：横ばい　実績値(R5年度)が実績値(R4年度)とほぼ変わらず、横ばいの状態

D：後　退　実績値(R5年度)が実績値(R4年度)より下回わっており、後退している状態

※「－」は、数年に一度の調査で実績値が出されるため、R5年度の実績値がないもの